

検 査 課 業 務 概 要

当センター(保健所)における検査業務は、平成 16 年度から「千葉県検査業務運営要領」に基づき中核検査機関に位置づけられ、当センターに加え香取、海匝及び山武健康福祉センターから依頼される検査を実施してきた。

平成 20 年度からは、検査業務の効率化を図り、高度な検査に対応するため検査体制の見直しが行なわれた。組織は「広域検査課」から「検査課」となり、環境衛生検査(飲料水検査等)を廃止し、食品化学検査が衛生研究所へ集約され、平成 21 年度から新たにノロウイルス検査が導入された。

また、成田支所の検査業務は、従前からの細菌検査受付に加え、平成 20 年 3 月から開始した HIV の即日検査に対応するため検査課員が出向している。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた香取健康福祉センターの検査室半壊により海匝健康福祉センター管内で発生した食中毒等検査の依頼を受け検査を実施した。

1. 臨床検査及び細菌検査

(1) 臨床検査

エイズ対策として HIV 抗体検査を 345 件、性病予防対策としてクラミジア抗体検査 290 件及び梅毒検査 292 件、肝炎対策として、HBs 抗原検査 306 件・HCV 抗体検査 306 件を実施した。肝炎検査については、平成 20 年 1 月 17 日、厚生労働省が、非加熱血液凝固因子製剤を血友病以外の患者に投与した可能性のある医療機関名を再公表したことを受け、19 年度及び 20 年度は検査希望者が増加したが、平成 21 年度は新型インフルエンザ発生の影響で業務の制限を行い検体数は減少、平成 22 年度は横ばい状態であった。

原子爆弾被爆者を対象とした健康診断では尿検査を 81 件実施した。

(2) 細菌検査

ア 平常時検査

平常時の感染症対策としての給食施設従事者、食品取扱業者、水道施設従事者等を対象として腸管出血性大腸菌 O157、赤痢菌、チフス菌、パラチフス A 菌等の腸内細菌検査を 14,487 件実施した。

イ 感染症発生等に伴う検査

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、患者、家族・接触者等の菌検索を 18 事案 96 検体実施し、赤痢菌 3 件、腸管出血性大腸菌 O157 を 9 件検出した。

2. 食品衛生検査

(1) 食品細菌検査

食品機動監視班が監視指導を推進するために、管内施設から収去した食品等について 224 検体 1,220 項目実施し、サルモネラ属菌 1 件を検出した。

(2) 乳類規格試験

食品機動監視班が収去した市販の牛乳等について、規格試験を 7 検体 34 項目実施した。

(3) 食中毒及び苦情食品等の検査

健康危機事案である食中毒及び苦情食品等の検査を 58 事案 284 検体 5,294 項目実施し、サルモネラ属菌 2 件、黄色ブドウ球菌 1 件、カンピロバクター 2 件、腸炎ビブリオ 1 件、セラウス菌 6 件を検出した。

ノロウイルス検査は 218 件中 127 件が陽性であった。

(4) 精度管理

検査結果の信頼性を確保するため、検査の都度行う内部精度管理及び外部機関が行う外部精度管理を実施した。内部精度管理、外部精度管理ともに良好な結果であった。

1. 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	印旛 保健所	成田 支所	
血 液	梅毒	TP法	436	289	292	213	79
		STS法	436	289	292	213	79
	HIV抗体	467	478	345	242	103	
	クラミジア抗体	670(256)	427	290	210	80	
	HCV抗体	633	603	306	222	84	
	HBs抗原	630	603	306	223	83	
尿	糖	110	101	81	81	—	
	蛋白	110	101	81	81	—	
	ウロビリノーゲン	110	101	81	81	—	
	潜血	110	101	81	81	—	
喀 痰	結核菌	塗抹鏡検	—	—	—	—	
		培 養	—	—	—	—	
便	寄生虫	塗抹鏡検	—	—	—	—	
		ぎょう虫卵	1	24	1	1	—

()内は香取及び海匝保健所受付分として再掲

(2) 細菌検査

表 1 - (2) - ア 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	給食施設 従 事 者	食 品 取扱業者	水道施設 従 事 者	そ の 他
平 成 2 0 年 度		14,929	9,382	3,653	970	924
平 成 2 1 年 度		15,116	10,098	3,241	1,142	635
平 成 2 2 年 度		14,487	9,661	2,883	1,143	800
印 旛	赤痢菌・チフス菌・パラチフスA菌	3,206	2,658	65	298	185
	腸管出血性大腸菌 0157	4,900	2948	1,438	161	353
	その他の菌(腸炎ビブリオ)	33	—	—	—	33
成 田 支 所	赤痢菌・チフス菌・パラチフスA菌	2,516	1,850	48	566	52
	腸管出血性大腸菌 0157	3,829	2,205	1,330	118	176
	その他の菌(腸炎ビブリオ)	3	—	2	—	1

表 1 - (2) - イ 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分	計	便			飲料水	食品・吐物	拭き取り
		経過者・患者	接触者・家族	その他			
平成 20 年度	107	13	93	—	1	—	—
平成 21 年度	102	30	71	—	1	—	—
平成 22 年度	96	30	65	—	1	—	—
印 旛	赤痢菌	7	1	6	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—	—
	パラチフス A 菌	4	3	1	—	—	—
	コレラ菌	—	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	59	20	39	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 026	—	—	—	—	—	—
	その他の菌	1	—	—	—	1	—
成 田 支 所	赤痢菌	23	6	17	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—	—
	パラチフス A 菌	—	—	—	—	—	—
	コレラ菌	—	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	2	—	2	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 026	—	—	—	—	—	—
	その他の菌	—	—	—	—	—	—
検 出 菌 状 況	赤痢菌	3	2	1	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	9	6	3	—	—	—

2. 食品衛生検査

(1) 食品細菌検査

表 2- (1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	印旛保健所	成田支所
検 体 数		200	189	224	149	75
項 目 数		1,259	988	1220	845	375
項 目 内 訳	細菌数 (生菌数)	187	171	212	137	75
	大腸菌群の有無	187	171	212	137	75
	大腸菌 (E. coli)	8	8	7	7	—
	黄色ブドウ球菌	187	171	212	137	75
	サルモネラ属菌	195	179	219	144	75
	腸炎ビブリオ	22	12	5	5	—
	ウェルシュ菌	2	—	—	—	—
	カンピロバクター	181	165	203	128	75
	セレウス菌	177	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	95	93	133	133	—
	腸管出血性大腸菌 026	8	8	7	7	—
	恒温試験	5	5	5	5	—
	細菌試験	5	5	5	5	—

(2) 乳類規格試験

表 2- (2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	印旛保健所	成田支所
検 体 数		14	10	7	7	—
項 目 数		80	40	34	34	—
項 目 内 訳	細菌数 (生菌数)	14	6	7	7	—
	大腸菌群の有無	14	6	7	7	—
	比重	13	6	5	5	—
	酸度	13	6	5	5	—
	無脂乳固形分	13	6	5	5	—
	乳脂肪分	13	10	5	5	—

(3) 食中毒及び苦情食品等の検査

表 2-(3)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	食 品	便	吐物	拭き取り	その他
平成 20 年度	検体数	545	123	309	1	106	6
	項目数	10,320	2,342	5,871	19	2,014	74
平成 21 年度	検体数	305	3	268	1	32	—
	項目数	5,703	57	5,018	20	608	—
平成 22 年度	検体数	284(6)	16	251(6)	—	16	1
	項目数	5,294(118)	332	4,637(118)	—	304	21
実 施 項 目	コレラ菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	赤痢菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	チフス菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	パラチフス A 菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	腸炎ビブリオ	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	NAGビブリオ	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	ビブリオ ミミクス	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	ビブリオ フルビアリス	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	黄色ブドウ球菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	サルモネラ属菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	セレウス菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	ウェルシュ菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	カンピロバクター	266(6)	16	233(6)	—	16	1
	エルシニア エンテロコリチカ	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	エロモナス ヒドロフィラ	272(6)	16	239(6)	—	16	1
	エロモナス ソブリア	272(6)	16	239(6)	—	16	1
	ブレジオモナス シゲロイデス	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	病原性大腸菌	265(6)	16	232(6)	—	16	1
	腸管出血性大腸菌 0157	261(6)	16	228(6)	—	16	1
	ノロウイルス	218(4)	—	218(4)	—	—	—
大腸菌群	14	14	—	—	—	—	
大腸菌	1	—	—	—	—	1	
生菌数	15	14	—	—	—	1	
検 出 菌 内 訳	黄色ブドウ球菌	1	—	1	—	—	—
	サルモネラ属菌	2	—	2	—	—	—
	カンピロバクター	2	—	2	—	—	—
	腸炎ビブリオ	1	—	1	—	—	—
	セレウス菌	6	5	—	—	1	—
	ノロウイルス	127(3)	—	127(3)	—	—	—

() は海匝保健所受付分として再掲

表 2-(3)-イ 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況
(当年度保健所別・再掲)

(単位：件)

項 目		印旛保健所	成田支所
コレラ菌		174(6)	91
赤痢菌		174(6)	91
チフス菌		174(6)	91
パラチフス A 菌		174(6)	91
腸炎ビブリオ		174(6)	91
NAGビブリオ		174(6)	91
ビブリオ ミミクス		174(6)	91
ビブリオ フルビアリス		174(6)	91
黄色ブドウ球菌		174(6)	91
サルモネラ属菌		174(6)	91
セレウス菌		174(6)	91
ウェルシュ菌		174(6)	91
カンピロバクター		175(6)	91
エルシニア エンテロコリチカ		174(6)	91
エロモナス ヒドロフィラ		181(6)	91
エロモナス ソブリア		181(6)	91
ブレジオモナス シグロイデス		174(6)	91
病原性大腸菌		174(6)	91
腸管出血性大腸菌 O157		170(6)	91
ノロウイルス		158(4)	60
大腸菌群		—	—
大腸菌		—	1
生菌数		—	1
合計		3,503(118)	1,791
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌	1	—
	サルモネラ属菌	2	—
	カンピロバクター	1	1
	腸炎ビブリオ	—	1
	セレウス菌	5	1
	ノロウイルス	106(3)	21

() は海匝保健所受付分として再掲

3. 精度管理事業

(1) 内部精度管理

表 3- (1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	生菌数	44
繰り返し試験	生菌数	4
陽性対照	腸管出血性大腸菌 O157	15
	腸管出血性大腸菌 O26	2
	黄色ブドウ球菌	22
	サルモネラ属菌	23
	セレウス菌	2
	腸炎ビブリオ	1
	大腸菌	23

(2) 外部精度管理

表 3- (2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
財団法人 食品薬品安全センター	一般細菌数 大腸菌群 黄色ブドウ球菌 サルモネラ属菌 大腸菌 (E.coli)
千葉県衛生研究所	腸管出血性大腸菌のベロ毒素 ノロウイルス